

安位寺殿御自記 六十

古文書

一九八三
函共
三五九號

内閣文庫			
番號	和	20909	
冊數		82(60)	
函號	古	19	359

安位寺殿御自記



60

、
/

60 / 2

寛政五年正月朔日

共八十二

要領

海

山

60
3

圃

圃 ミヤセウ

身

才不肖其名



庚子年正月
初五日
千往万福

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

一 四方神

湯行

二日庚戌

吉園

一 湯行

一 湯行

一 湯行

一 湯行

五

一 湯行

湯行

湯行

湯行

一 湯行

一 湯行

四日壬子

湯行

一 湯行

六日 皇土書

一 御湯也 平古久 入那那

一 任丁 御古 筆上 御古 池

一 御古 御古 御古

一 極 御古 御古 御古

一 御古 御古 御古

七

七日 御古

御古 御古

一 御古 御古 御古

御古

八日 御古

御古 御古

一 御古 御古

一 乃名淑撫一節 掃一息 出納之有
一 華子一人 由有母像 弟一人 合
一 字

一 務能上も 昔初云を 治て 以 華花
一 事由之 事也 治 治 治 治 治 治
一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治

一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治
一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治
一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治

九 日 下 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治

一 考 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治
一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治

一 古 日 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治
一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治
一 治 治 治 治 治 治 治 治 治 治

一 幸りて四佐し

一 馬場十日向國飛道經平野下下
山より押寄切羽段より連式三序五折
三折より青蓮院まで初活方三午也
書中略後略して享海花申候也

一 三日書面

一 病後力

一 幸りて庄被力し力代平江御申向
幸り力代をあるけ御申向

一 高日平成

一 上在申白二ある一 送酒一納集

一 文目美意

一 漸移多々

一 力作申下見申地前書より江美事
十五市重一移り小呂りし書如術
と一財之助に上りし送同書
初下下活候 小呂り良 送書より下
一 取別念公少形留國へ

去者三平丁大目抄より中候より
一 諸司よりより司より恒例より
一 物令也諸司恒例より

十九日申

近頃由の廿三上候申度、拂帳に
より、
三

廿日庚辰

向より申す、板敷、中候、
河三郎、
其方より、
礼申す、
去者三平丁大目抄より、
一 諸司よりより司より恒例より、
一 物令也諸司恒例より

一 石井山に於て... 石井山に於て... 石井山に於て...

廿二日

極一山... 極一山... 極一山...

... 抑初... 抑初... 抑初...

... 寺... 寺... 寺...

一 石井山... 石井山... 石井山...

... 寺... 寺... 寺...

一 石井山... 石井山... 石井山...

古

一 石井山... 石井山... 石井山...

... 寺... 寺... 寺...

一 石井山... 石井山... 石井山...

... 寺... 寺... 寺...

一 石井山... 石井山... 石井山...

...

...

一 石井山... 石井山... 石井山...

...

一 此の末の三行は世に有るものなり
 一 此の末の三行は世に有るものなり
 一 此の末の三行は世に有るものなり

廿五日丙戌の事

此の西に... 苗阿保の... 上... 因... 月... 其... 品... 男...

十五

此の西に...

一 此の西に... 苗阿保の... 上... 因... 月... 其... 品... 男... 此の西に... 苗阿保の... 上... 因... 月... 其... 品... 男...

一 相方一見 晴明は計極其物多
一 言方子云云 言方下より物多

廿日 子舟

一 延平久重云云 延平久重云云

一 延平久重

一 延平久重 延平久重云云

廿日 延平

一 延平久重 延平久重云云

七

一 延平久重 延平久重云云

廿日 延平

一 延平久重 延平久重云云

一 延平久重 延平久重云云

相沙洲 高橋 行山を佐 事...
 市 中 信 心 社 公 事 矣 也
 寺 信 心 社 矣 事 有 方 到 了 事 矣 矣
 温 化 心 下 一 社 二 三 社 矣 矣 矣
 知 實 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 以 及 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 一 以 及 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣

大

一 同 月 海 河 之 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 事 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 事 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 事 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣

二月小

初 日 乾 卯 年 癸
 一 日 海 河 之 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 事 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 事 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣
 事 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣 矣

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一人
と申す

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

二日 辰 再

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

一 口内にておのゝろひの儀を祈修致すに

四日甲午一併

極其哀痛之至有上意却之

一 如江州之至三之京凡一二三之要守之

よりき悔りしとせしめ

一 有り格事申す候所極其精果力し之

任日精脚海防新言い申お物所候

從正江之申す申す

一 有り吉作人なる國書道活州

云ん中候申す寂靜所美言候

云ん云く候申す此も二方申す

一 有り候申す候古云ん云ん候

初勅也云ん三申す申す申す

一 九常の有り候申す力候精清中守

不勤事云ん云ん云ん

一 有日未未拜

候候候候候候候候候候候候候候

候候候候候候候候候候候候候候

一 候候候候候候候候候候候候候候

候候候候候候候候候候候候候候

候候候候候候候候候候候候候候

候候候候候候候候候候候候候候

其日... (vertical text)

欠... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

三

其日... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

其日... (vertical text)

一... (vertical text)

一... (vertical text)

生島為清書也

一 本利利子...
 一 於此...
 一 一...
 一 一...

四

一 一...
 一 一...
 一 一...
 一 一...
 一 一...

一 海防の要と船政の定に相成
一 入子師多
一 下りり入は

一 止日已れし 船政の
一 勿海防の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と

一 海防の要と船政の定に相成

一 止日已れし 船政の
一 勿海防の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と
一 船政の要と

世

あ
ま
り
の
し
ら
べ

60
29

三月大

朝日三年

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

一古事一物月日混和上一物物七物物也

廿九

二日 是日
 以自防備 諸事 高下 亦新 意之 改令
 言 亦事 亦言 且心 至至 上法 下
 之 以 極 一 以 心 等 一 行 及 神 之 極 極
 性 上 一 一 一 他 人 自 利 乃 亦 使 出 而
 從 亦 少 上 上 上 又 以 心 心 心 心 心 心
 高 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 中 相 防 防 防 防 防 防 防 防 防 防 防

三日 是日
 地 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 一 亦 井 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

四日と家部
 七日と家部
 八日と家部
 九日と家部
 十日と家部
 十一日と家部
 十二日と家部
 十三日と家部
 十四日と家部
 十五日と家部
 十六日と家部
 十七日と家部
 十八日と家部
 十九日と家部
 二十日と家部
 二十一日と家部
 二十二日と家部
 二十三日と家部
 二十四日と家部
 二十五日と家部
 二十六日と家部
 二十七日と家部
 二十八日と家部
 二十九日と家部
 三十日と家部

下
 上

先市人
 中
 下
 上

六日酉子申下
り多々記す所流重し初回書野とて
事即力も知進下入此書野とて

六日丁未辰記能由
事即力も知進下入此書野とて

十日申宮の舟
何りぬ去由申す棟好野とて
舟書了し指五三の廿五舟人
上は三人舟好三書野とて入此

三

事即力も知進下入此書野とて

一
事即力も知進下入此書野とて

事即力も知進下入此書野とて

事即力も知進下入此書野とて

事即力も知進下入此書野とて

事即力も知進下入此書野とて

八日 申

子助久平女也

一 用極多并清中事多予亦約之天
相 為情亦由中事多予亦約之天
口 中力也 似江平中事多予亦約之天
夜 來事也 地百夜海予及候と
還 可也

九日 辰辰

向三堂院中 自來 新與 為情 山 河 等

一 弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天
弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天
弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天
弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天
弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天

弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天

弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天

弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天

弟 兄 之 書 二 區 由 中 予 亦 約 之 天

一 於此間... 言... 心...
十日...
... 中... 劫... 劫... 劫...

一 首... 平...
... 何... 何... 何...
... 何... 何... 何...

廿五
... 日... 日... 日...
... 日... 日... 日...
... 日... 日... 日...

... 日... 日... 日...
... 日... 日... 日...
... 日... 日... 日...

一 於此... 於此... 於此...
... 於此... 於此... 於此...
... 於此... 於此... 於此...

戸に向ひて... 柳の...
東...
之中...
...

七日...
...

とわ...
と柳...
中...
...

四七

七日...
...

勤...
...

八日...
...

少...
...

九日...
...

...

一 檢取抄一也以上所記文字了立老
 一 俗名是故行用也山人中七世也
 一 号又抄之也
 一 一 富麻海記書之昔年 万成滿抄序
 之

文目之家

一 直法久重元 茲和元者千反而
 一 富麻海記之古多下能修成而
 一 自中利法重元 茲和元者千反而
 一 富麻海記之古多下能修成而
 一 富麻海記之古多下能修成而

里

一 廿九國而之并
 一 由方并上其國初之名已未書自
 一 向名之也又其
 一 四九國而之并
 一 由方并上其國初之名已未書自
 一 向名之也又其
 一 四九國而之并
 一 由方并上其國初之名已未書自
 一 向名之也又其



BMF

60
43

60

44

紙
數
四
十
枚

